

年度 2007 学期 前期	曜日・校時 木 3	必修選択 選択	単位数 2
授業科目/(英語名)	言語と芸術 (日本の古典文学) Language and Art (Japanese Classic Literature)		
対象年次 1・2年次	講義形態 講義	教室	
対象学生(クラス等) 全学部	科目分類 人文・社会科学科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 担当教員: 勝俣 隆 /Eメールアドレス: katumata@nagasaki-u.ac.jp /研究室: 教育学部605 /オフィスアワー:在室時いつでも可			
担当教員(オムニバス科目等)			
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 授業のねらい:日本の古典文学の中から、有名な伝説を取り上げ、原文で読み、その意味を解説する。古典という文化遺産の価値を知ってもらい、古代日本人の心に触れてもらう。また、伝説を通して、本文を理解するという作業を行い、読解力・考える力を養うことを目的としている。 授業方法:プリントを配布して解説し、授業の終わりに、疑問点についての小レポートを毎回提出してもらう。次の回の冒頭、口頭またはプリントで質問について解説する。適宜、視聴覚機器も利用する。 授業到達目標:1. 古典文学を正しく理解できる。2. 古典文学の面白さを味わえる。3, 古典文学の価値が分かる。			
授業内容(概要) /授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 授業内容(概要) 日本には、浦島伝説や羽衣伝説など、多くの伝説が残っている。それは、絵本や童話の形で子どもたちに親しまれているが、古典文学に掲載された伝説と現代の絵本等で紹介される伝説は実は大きく異なっている。本講義では、原文を読解することで、現在知られている最古の形から現在よく知られた形にどのように変化してきたかを、具体的に分かりやすく説明する。また、外国にも同様な伝説がある場合は、それとの比較も行って、関係の有無等にも言及したい。 第1回 鬼の伝説 第2回 天狗の伝説 第3回 人魚の伝説 第4回 河童の伝説 第5回 幽霊の伝説 第6回 夢の伝説 第7回 虹の伝説 第8回 松浦佐用姫伝説 第9回 浦島伝説 第10回 羽衣伝説 第11回 柘枝伝説 第12回 七夕伝説 第13回 その他の伝説1 第14回 その他の伝説2 第15回 定期試験			
キーワード	古典文学 伝説		
教科書・教材・参考書	プリントを用意する		
成績評価の方法・基準等	授業への積極的参加状況と態度(1割)・小レポート(4割)・定期試験(5割)		
受講要件(履修条件)	留学生も歓迎。但し、日本語が充分理解できること。		
本科目の位置づけ/学習・教育目標	言語と芸術の分野の中で、文学に当たるもの。/古典文学読解力の育成、疑問を持って考える力の育成、文学等の知的遺産を愛する心の育成を目指す。		
備考(準備学習等)	現代語訳付きで構わないから、古典文学の作品を沢山読んで親しむこと。		